

# CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンス北久宝寺町1丁目 新築工事		
建設地	中央区北久宝寺町1丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	764.98	m <sup>2</sup>	
建築面積	476.96	m <sup>2</sup>	
延床面積	6,147.40	m <sup>2</sup>	
構造/階数	RC造 / 地上15階地下1階		
完了年(予定)	2021年2月		

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**B+**  
BEE=1.1

環境品質 G vs 環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示: **有**

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.4

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	高効率機器を積極的に採用することで省エネルギー性に優れ、環境負荷を低く抑えられる建築物となるように配慮した。	その他 特に無し
Q1 室内環境	遮音性に優れた開口部を計画し、専有部分の外皮性能を高めることで、豊かな室内環境となるように配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地境界からは極力距離を設けて建物の配置を行うことで、周囲に開けた建物となるように計画した。
LR1 エネルギー	建物内設備にはLED照明等高効率設備を採用することで、一次エネルギー量の低減に努めた。	LR3 敷地外環境 一次エネルギーの発生を抑え、建設に伴って発生するCO <sub>2</sub> の発生量を低く抑える建物となるよう計画した。
Q2 サービス性能	維持管理が容易な室の配置計画及び材料の選定を行うことで、性能が長期間保たれるように配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	GLI法とすることで、将来の更新及び修繕の計画が容易となるように配慮した。	

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能		評価点	
(1)CO2削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄	
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.4	LCCO2:66%
配慮事項	建物内に設置する機器はLEDなどの高効率機器を採用するなどし「建設時」「運用時」「解体時」における「運用時」に発生するCO2を低く抑える計画とした。		

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄	
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0	特に無し
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0	特に無し
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0	特に無し
配慮事項	緑化については可能な限り計画し、敷地内の快適性向上に努めた。		

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄	
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0	品確法の等級4相当の基準を満たす
配慮事項	過半の住戸を、品確法の等級4基準を満たす住戸とすることで、高断熱住宅となるように計画した。		

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		5.0	
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄	
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0	BEI=0.69(建物全体)
配慮事項	高効率機器を積極的に採用することで、省エネルギー基準を下回る建物となるように計画した。		

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ]	
	等級4 (相当)	-	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
	0.69	0.69	-
	2/4		

## 再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

## 1 設備導入の検討

## ① 周辺環境の把握

## ② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ ( 44 ) m <input type="checkbox"/> 地上部 ( <input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他 ( )
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約 ) m 方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約 ) m 方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約 ) m 方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約 ) m 方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約 ) m
ウ 日照の確保(冬至)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分

## ③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	( 423.3 ) m <sup>2</sup> 方位 ( 南 ) 設置角度 ( 30 ) 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	( 169.3 ) m <sup>2</sup>
ウ 設置可能容量	( 25.4 ) kw
エ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
オ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (例：設備用基礎の設置) ( )

## ④ 導入判断

検討結果  導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

導入しない

導入を見送る理由(複数選択可)

- 日照が確保できない  
 躯体が荷重に対応できていない  
 敷地内に設置する場所を確保できない  
 費用負担が大きい  
 本計画では見送るが、将来対応可能とする  
 その他 ( )

## 2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	( ) m <sup>2</sup>
イ 発電容量	( ) kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

## 再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

<b>1 設備導入の検討</b>																
① 周辺環境の把握																
② 日照条件の検討																
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ（ 44 ） m <input type="checkbox"/> 地上部 （ <input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他 ） <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他 （ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 20%;">方位（ ）</td> <td style="width: 20%;">高さ（約 ） m</td> <td style="width: 20%;">水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
ウ 日照の確保（冬至）	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分															
③ 熱需要の条件等の検討																
ア 建築物の用途	共同住宅															
イ 熱需要対象用途	<input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）															
ウ 設置可能面積	（ 423.3 ） m <sup>2</sup>															
エ 概算年間熱利用量	（ 368,610 ） MJ/年															
オ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし															
カ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり （例：設備用基礎の設置） （ ）															
④ 導入判断																
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない																
導入を見送る理由（複数選択可） <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他（ ）																
<b>2 導入する設備の概要</b>																
ア 集熱パネル面積	（ ） m <sup>2</sup>															
イ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年															
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）															
備考																